

事業実績書

団体名	おおどのコミュニティ協議会
-----	---------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

働くところがあり、心豊かに暮らし続けることができるまちづくり

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	連携強化とつながる活動の推進		
	事業名	地域情報の発信と広報活動事業	決算額	666,515円
		地域コミュニティ推進事業(つながり)	決算額	71,185円
②	視点	安心・防災意識を高めよう		
	事業名	地域見守り活動事業	決算額	159,344円
③	視点	地域個性を活用したにぎわいの創出		
	事業名	伝統文化の保存継承事業	決算額	474,243円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>① 各町内会をはじめ各団体との連携強化や情報共有を図るため、「チーム大殿」の視点での広報紙の一元化をし「地域情報みんなのおおどの」として発行及びホームページの定期更新に努めた。地域の皆さんの意見を拾う取り組みとして、車座トークへの意見を募集。広報紙を通じた地域コーディネートの在り方を引き続き模索していく。</p> <p>研修事業では、庭木の学校(4月、10月)実施。3年前から実施している「大殿マイスター検定(庭木の管理編)認定試験も続けている。新規事業として、里山の学校を実施。山登り初心者向けに企画した。皆で声を掛け合い、片道1時間半をかけて鴻ノ峯へ。消防出初式視察研修を計画していたが、昨年引き続き中止となった。</p>	◎
<p>② 「地域見守り活動事業」は、見守り関係団体懇談会をあんぜん部会と大殿小学校PTAとの共催で開催し4年目を迎えた。今年も17団体が集まり「地域での緩やかな見守りを進めるアイデア」「見守りが必要な箇所の洗い出し」「緊急連絡先とシステムの構築」などで意見交換を行った。</p> <p>引き続き、「チーム大殿」の視点で「地域ぐるみ」での見守り意識を高めるための活動や懇談会での協議を情報発信していきたい。お互いの活動を理解し、関係性を深めていく。登下校中の見守り人口を増やすため「見守りタスキ」を作成し、協力いただける方に配布できるよう準備を進めている。</p>	◎
<p>③ 地域の伝統文化(祭り)を通して地縁の強化を図るため取り組んできた「2021つながる大殿七夕ちょうちん事業」は、今年もコロナ禍にあってもできることをやろうという実行委員会の方針のもと、町内会等のちょうちんや歴史学習会は中止したが、「お家で軒先ちょうちんを飾ろう」と呼びかけた。軒先ちょうちん100セットの協賛をいただいたほか、飾った写真を送ってもらい、HPで軒先ちょうちんギャラリーとして発信することができた。地縁の復活を検証しながら持続可能な事業運営を模索していく。</p> <p>また、地域への愛着を深めてもらう事業として、「大殿界限今昔物語」の冊子を活用し、4回の学習会を開催した。今後もアンケート結果を活用して、まちあるきを視野に、事業を地域に広めていきたい。</p>	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第5期大殿地域づくり計画の1年目にあたり、コロナ禍での会議の持ち方を模索しながら、各部会の年間事業予定に沿って会議を開き、皆で協力し事業を進めることができた。新規事業として、学校シリーズ:里山の学校と、三世代交流事業:グラウンドゴルフ大会の2つを開催することができた。

専門部会(あんぜん部会・やすらぎ部会・にぎわい部会)と運営委員会の位置づけとして、

- 専門部会は、地域課題一つ一つの視点を明確にしてその解決策を協議、検討する。
- 運営委員会は、地域内の連携強化のため「まず知り合うことから」というスタンスで協議を重ねている。

基本目標の「働くところがあり」に込めたやりがいやいきがいにつながるよう、地域住民に幅広い参加を促すタイムリーな情報発信に努めた。また、「チーム大殿」の視点で広報紙一元化し「地域情報みんなのおおどの」として発行した。今後は紙面づくりにも地域の皆さんの声を拾う取り組みを進めていきたい。

引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していきたい。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,062,673円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務局員:2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費及び事務費</p> <p>(成果・評価) 新規雇用2名を迎え、業務の見直しと効率化及び調整業務に重点に置いた運営に努めた。</p> <p>(今後に向けて) 「チーム大殿」構想に向けた中間支援として、誰もが担える事務局を目指したい。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域情報の発信と広報活動事業
事業費	666,515円
事業概要	<p>(実施内容) ホームページの定期更新。広報紙一元化「地域情報みんなのおおどの」発行スタート。</p> <p>(実施時期) 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>(参加人数) 182人</p> <p>(成果) 事業の告知・報告のほか、地域の各団体からの情報を発信できた。紙面を通じ、車座トークへの意見や広報紙名称募集など地域の皆さんの参画を促した。</p> <p>(評価) 広報紙一元化「地域情報みんなのおおどの」で発行スタート。事業目的の共通理解にたつて年度ごとの「到達点」を明確にし、段階を踏んだ調整を進めていく必要がある。</p> <p>(今後に向けて) 地域の皆さんを巻き込んだ情報発信のありかたを引き続き検討していく。</p>

事業名	地域行事の活動支援事業
事業費	201,748円
事業概要	<p>(実施内容) 大殿ふるさとまつり活動支援(委託費等)、成人式メッセージ集作成 中止した事業:町内親睦大運動会種目支援、ほたる観賞Week! 大殿のおもてなし(委託費等)、大殿地区ロードレース大会活動支援</p> <p>(実施時期) 令和3年11月～令和4年1月</p> <p>(参加人数) 246人</p> <p>(成果) 地域行事の多くが中止となり、会議や広報紙を通じた告知を丁寧に行うことにシフトした。</p> <p>(評価) 事業中止となったが、実行委員会や関係団体との連携を意識づける機会となった。</p> <p>(今後に向けて) 事業を通じた連携強化や住民の参加意識の醸成を図っていききたい。</p>

事業名	地域コミュニティ推進事業
事業費	1,847,077円
事業概要	<p>(実施内容) 町内会を中心とした関係団体との連携強化。活動拠点の充実。</p> <p>(実施時期) 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>(参加人数) 500人</p> <p>(成果) 会議は3密対策を徹底して実施。顔を見て話すことで互いに共有し合うという意識が高まった。</p> <p>(評価) 参画した実感のある会議運営の更なる工夫が必要。また、各団体の得意分野や困りごとなどを共有し、「チーム大殿」を意識した活動へつなぐ視点や仕掛けが必要。</p> <p>(今後に向けて) 参加者が「チーム大殿」を意識した活動へつなげる視点が持てるような会議運営を模索していく。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域コミュニティ推進事業(つながり)
事業費	71,185円
事業概要	<p>(実施内容) 研修事業の実施(庭木の学校4月・10月実施、里山の学校11月、消防出初式の視察研修1月中止)</p> <p>(実施時期) 令和3年4月24日、10月18日、11月3日</p> <p>(参加人数) 136人</p> <p>(成果) 研修事業では参加者の学習意欲やボランティア意識の把握ができた。4月・10月に実施した庭木の学校では環境美化活動ができた。新規事業里山の学校は初心者向け登山として企画した。</p> <p>(評価) 研修事業は新たな参加者を巻き込むための学校シリーズ(多様なメニュー)の検討や参加者同士の交流を深める工夫も必要。健康維持を目的に参加できるものなど。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から、住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していく。</p>

事業名	助成金交付事業
事業費	397,960円
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり計画に掲げた課題の解決につながる事業を実施する7団体に助成金を交付した。なお、事業を中止した団体から助成金返納済み。</p> <p>(実施時期) 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>(参加人数) 68人</p> <p>(成果) 厳正な審査の実施及び次年度募集への申し送り事項が整理できた。</p> <p>(評価) コロナ禍ではあったが、事業の事前告知と事務局でのサポートにより申請しやすい仕組みづくりに努めた結果、交付団体、交付金額ともに予定に達した。</p> <p>(今後に向けて) 募集案内や審査委員の見学結果などを発信し、地域での認知度を高めるよう工夫していく。</p>

(3) 地域福祉

事業名	三世代交流事業①
事業費	29,680円
事業概要	<p>(実施内容) 三世代交流事業として令和3年度「大殿ペタンク大会」を開催。</p> <p>(実施時期) 令和3年12月12日</p> <p>(参加人数) 80人</p> <p>(成果) 令和3年度「大殿ペタンク大会」は、わくわくチャレンジ教室に組み込んでの実施予定としていたが、12月に変更して実施。当日は3密対策を行い、スタッフは進行、タイムキーパー、記録など役割分担もスムーズに運用できた。審判は今回も体育委員会からの協力が得られ、「チーム大殿」が感じられる事業となった。参加8チーム、毎年子どもの参加があり、続けていきたい。</p> <p>(評価) 「チーム大殿」の意識で体育委員会との連携が進んだほか、参加者が楽しく交流できる場になってきている。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、子どもたちの参加を促すため「わくわくチャレンジ教室大殿」との共催を視野に実施していく。</p>

事業名	三世代交流事業②
事業費	59,988円
事業概要	<p>(実施内容) 新規事業:「グラウンドゴルフ大会」を開催。</p> <p>(実施時期) 令和3年10月17日</p> <p>(参加人数) 80人</p> <p>(成果) 新規事業として「グラウンドゴルフ大会」を開催した。4チーム20人での大会となった。初めてグラウンドゴルフを体験した人もいたが、簡単なのですぐに覚えることができた。老人クラブの企画で進行、記録などスムーズに開催できた。ニュースポーツを十分に楽しむことができた。</p> <p>(評価) 初めての開催だったので、一度は延期したが、参加者同志が楽しく交流できる場になった。次年度は体育委員会との共催事業としての位置づけなども期待したい。</p> <p>(今後に向けて) 今回は、初めての試みだったので、もっと子どもたちの参加を促すため「わくわくチャレンジ教室 大殿」との共催を視野に実施していく。</p>

(3) 地域福祉

事業名	健康づくり事業:健康体操教室活動支援事業
事業費	40,000円
事業概要	<p>(実施内容) 行くっちゃ！おおどの健康体操教室への活動支援。</p> <p>(実施時期) 令和3年5月～令和4年3月(中止月を含む)</p> <p>(参加人数) 720人</p> <p>(成果) 健康寿命を伸ばすことに意欲のある人が集まり、高齢者の健康づくりに役立っている。大殿ペタンク大会への参加をきっかけにペタンクの貸回数も増え、ペタンク体験人口を増やすことにつながっている。</p> <p>(評価) コロナ禍で、中止した月も多く集まることができなかった。高齢者の健康づくりへの関心が高まることや仲間づくりに寄与することが期待できる。</p> <p>(今後に向けて) 仲間づくりから町内会等で老人クラブ結成へとつながることを期待し、活動支援を継続していく。</p>

事業名	健康づくり事業:健康ウォーキング事業
事業費	24,980円
事業概要	<p>(実施内容) 三世代交流事業として健康ウォーキングを実施。</p> <p>(実施時期) 令和3年10月31日</p> <p>(参加人数) 122人</p> <p>(成果) 事業実施にあたり、部会員からコースの案を出してもらい、募集内容や役割分担などを部会全体で協議して準備を進めた。日頃気づかない景色や、大殿地域の歴史あるお寺を拝観しながら、秋を満喫するウォーキング事業が実施できた。</p> <p>(評価) 誰でも気軽に健康づくりに取り組めるように企画したウォーキング事業は、事業の目的と参加の意欲とのマッチングがうまくできた。</p> <p>(今後に向けて) 継続実施や回数を増やしていくために、健康づくりへの意識づけや参加者同士の交流の持ち方を工夫していく。親子ペアでの参加で、子供の参加を増やしていくことが課題。</p>

事業名	おおどのたすけあいのまちづくり事業
事業費	1,176円
事業概要	<p>(実施内容) おおどのたすけあいのまちづくり事業の情報共有、ボランティア育成活動の支援。</p> <p>(実施時期) 令和4年1月</p> <p>(参加人数) 中止</p> <p>(成果) 部会で活動支援している「介護ボランティア養成講座」について企画し募集したが、参加者応募がなかったため中止となった。</p> <p>(評価) 中止のため無し</p> <p>(今後に向けて) 「介護ボランティア養成講座」の活動支援を継続するとともに、参加者のニーズに合わせた企画を考えて提案していく。しっかり協議した上で、進めていき協力していく。</p>

(4) 安心・安全

事業名	大殿地区安心安全のつどい事業
事業費	46,946円
事業概要	<p>(実施内容) 安全意識・災害時の意識啓発を目的とした「大殿地区安心安全のつどい」事業で、同時開催の「大殿ふるさとまつり」が縮小開催となったため、通常より短時間での事業となった。</p> <p>(実施時期) 令和3年11月14日</p> <p>(参加人数) 200人</p> <p>(成果) コロナ禍での事業実施の考え方、できることを少しでもやろうと、縮小開催となった。消防・警察への参加協力。また、ハザードマップの企画展を開催し、地域の安心・安全意識を高めることができた。</p> <p>(評価) つどい事業は部会協議を重ねて企画を練り上げた。部会員スタッフと大殿中OTK3名で協力してつどいを運営できた。ふるさと祭りと同時開催による啓発活動は、体験コーナーを通じていざという時を考えるきっかけづくりの一步につながっている。時間短縮での開催となったが、呼びかけを定期的に実施して、参加者が多く大変良かった。</p> <p>(今後に向けて) イベントコーナーのスタッフ不足という課題をふまえ、企画運営を検討していきたい。</p>

事業名	自主防災活動推進事業
事業費	16,427円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災活動推進、住民の防災意識を高めることを目的とした「防災の学校」を実施した。</p> <p>(実施時期) 令和3年11月28日</p> <p>(参加人数) 60人</p> <p>(成果) 今回は、親子ペア限定での募集とした。防災力を高めるきっかけとなるように、防災体験ミッションを準備した。部会員が中心となって各会場に配置し、教えていく形で実施できた。ダンボールペットの組立・ロープワーク・発電機の使い方など、日頃わかっている、実際には慌ててできないことを体験できた。</p> <p>(評価) 講師の説明がわかりやすくスムーズに進行できた。感想や質問からも参加者の防災意識が高いことがうかがえた。</p> <p>(今後に向けて) 地域の防災意識を高めるための学習活動を継続していく。3密対策をしっかりした上で、参加者を増やして、大人も子供も楽しく勉強できる場にしたい。</p>

事業名	地域見守り活動事業
事業費	159,344円
事業概要	<p>(実施内容) 部会と大殿小PTAの共催で第4回見守り関係団体懇談会を開催した。</p> <p>(実施時期) 令和3年12月1日</p> <p>(参加人数) 52人</p> <p>(成果) 17団体29人が参加し、テーマ「地域でゆるやかな見守りを拡げていくためのアイデア」や「見守りが必要な箇所」「緊急連絡先とシステムの構築」として、意見交換を行った。危険箇所を地図に落とし込んで情報共有できた。また、見守り活動に参加していただくボランティアの方等に、共通のタスキを作ることを決定した。</p> <p>(評価) 参加団体が増えていることから見守り活動への期待は高まっている。</p> <p>(今後に向けて) 「チーム大殿」の視点での懇談会の継続実施。ゆるやかな見守りのルールづくりと実効確保のための協議を深めていきたい。タスキを付けた見守り活動を進める。</p>

事業名	反射鏡設置事業
事業費	46,330円
事業概要	<p>(実施内容) 各町内会に要望調査を行い、1件(古熊町内会)実施。</p> <p>(実施時期) 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>(参加人数) 33人</p> <p>(成果) 事業の進捗について情報共有した。</p> <p>(評価) 当該事業は交付金とは別の枠組みでの補助金交付が望ましい。</p> <p>(今後に向けて) 自治会活動の手引きに組み込む等、交付金の枠組みから外してもらうことを要望したい。</p>

(5)環境づくり

事業名	環境整備事業
事業費	66,880円
事業概要	<p>(実施内容) 地域内の環境整備(作業資材費及び処分費)</p> <p>(実施時期) 令和3年4月24日、10月18日</p> <p>(参加人数) 71人</p> <p>(成果) 庭木の学校での研修にあわせて環境整備を実施した。</p> <p>(評価) 研修事業(庭木の学校)への参加者の声からも環境整備への関心は高い。</p> <p>(今後に向けて) センター定期利用団体の清掃活動との同日開催での作業で、参加者同士の交流を深める工夫をしていく。</p>

事業名	土木工事(法定外公共物・単市土地改良)平成28年度より市に返還
事業費	-
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>(実施時期)</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果)</p> <p>(評価)</p> <p>(今後に向けて)</p>

(6) 地域個性創出

事業名	伝統文化の保存継承事業①
事業費	474,243円
事業概要	<p>(実施内容) 地縁の復活をめざして取り組んでいることを実行委員会で共有し、コロナ禍にあってもできることとして、昨年同様「お家で軒先ちょうちんを飾ろう」と呼びかけた。来年度はちょうちんまつりが実施できるように、ちょうちんを調達した。</p> <p>(実施時期) 令和3年7月～令和4年2月</p> <p>(参加人数) 310人</p> <p>(成果) ちょうちん事業では、軒先ちょうちん100セットの協賛をいただいたほか、飾った写真を送ってもらい、HPで軒先ちょうちんギャラリーとして発信することができた。</p> <p>(評価) コロナ禍にあってもできることをやろうという方針のもと、軒先ちょうちんを呼びかけ地域の皆さんの協力が得られた。LEDライトを使用してもらい、火事が起こらないよう安全に配慮した。</p> <p>(今後に向けて) 会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れた協議を深めるとともに、参加したくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。また、100セットのちょうちんが、どのように飾られて、軒先ちょうちんの効果はあったのか検証していく。</p>

事業名	伝統文化の保存継承事業②
事業費	53,193円
事業概要	<p>(実施内容) 地域のお宝・魅力発信:地域のお宝学習会として「大殿界限今昔物語」(大内文化街道まちなみ協議会発行)冊子を活用した講座を、年4回企画した。講師は、ふるさと伝承総合センター前館長の小田雅彦さんにお願しました。</p> <p>(実施時期) 令和3年7月～令和4年1月</p> <p>(参加人数) 150人</p> <p>(成果) 第1回:中世編 大内氏の栄枯盛衰と七夕ちょうちん 令和3年 7月25日 参加者28人 第2回:近世編 変わりゆく山口 令和3年10月17日 参加者19人 第3回:近代編 人々の暮らしを辿る 令和3年11月28日 参加者13人 第4回:近代編 人々の暮らしを辿る②みんなで意見交換 令和4年 1月16日 参加者14人</p> <p>(評価) 地域をよく知る人、知らない人、参加した皆さんに興味を持ってもらえた。今後もアンケート結果を参考にして、冊子を活用した事業を地域に広めていきます。また、地域のお宝・魅力を発信する事業、2年目はまちあるきを計画しており、地域の皆さんの参加が大いに期待される。</p> <p>(今後に向けて) 会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れた協議を深めるとともに、参加したくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。</p>

事業名	体育振興事業
事業費	79,600円
事業概要	<p>(実施内容) 体育推進員の研修参加支援を行い伝達講習として部会でクップ体験も実施した。</p> <p>(実施時期) 令和3年5月～令和4年3月</p> <p>(参加人数) 73人</p> <p>(成果) 研修参加支援についての部会協議により体育振興に関する情報共有ができた。</p> <p>(評価) 推進種目を決めたことで、体育推進員さん等の研修参加を促す支援につながった。</p> <p>(今後に向けて) 推進種目の体験会や将来的に、クップ大会を体育委員会とやすらぎ部会で共催実施することも視野に、にぎわいの創出の観点からも協議を深めたい。ニュースポーツを広めていきたい。</p>